

令和6年度 浜松市立光が丘中学校

第4回 学校運営協議会



1年 スキー教室



2年 立志式



3年 光明勝栗贈呈

令和7年1月29日（木） 13:30～

光が丘中学校 会議室

<次第>

(1) 開会の言葉	1 3 : 3 0
(2) 開催要件の確認	1 3 : 3 0
(3) 会長挨拶	1 3 : 3 0
(4) 校長挨拶	1 3 : 3 3
(5) 授業参観（教科等は下記参照）	1 3 : 4 0
(6) 議長選出	1 3 : 5 5
(7) 前回会議録確認	1 4 : 0 0
(8) 熟議	1 4 : 0 3
①学校関係者評価	
②次年度の学校運営の基本方針	
③学校運営協議会の自己評価	
(9) 連絡事項	1 4 : 5 8
・さくら連絡網の登録について	
・次年度委員のお務め意向調査	
・令和7年度の予定	
(10) 閉会の言葉	1 4 : 5 9

【 授業参観 】

学級	1 A	1 B	2 A	2 B	3 A	3 B	F 組
教科等	数学	保健体育	国語	英語	社会	理科	理科
授業者	大庭	青島	北村	勇太	大輔	櫻田	小笠原
場 所	1 A	体育館	2 A	2 B	3 A	3 B	F 組

F 組は発達支援学級（知的）

令和 6 年度 浜松市立光が丘中学校 学校運営協議会 委員名簿

氏名	役職	備考
甘蔗 孝仁	浜松市立光が丘中学校 同窓会長 天竜東地区民生児童委員	会長
青山 敏郎	人権擁護委員 天竜地区会長	
溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会 委員長	
笹竹 和行	光明ふれあいセンター活動推進委員会 委員長	学校支援 コーディネーター
松井 章泰	光が丘中学校区青少年健全育成会 会長	副会長
森下 智子	天竜東地区主任児童委員・民生委員	
實森 浜代	天竜東地区主任児童委員・民生委員	
坂井 久司	龍山地区主任児童委員・民生委員	
瀧澤 文	浜松市立光が丘中学校 P T A 会長	

●運営組織の決定について ～ 浜松市学校運営協議会規則第 14 条 3 より ～

- ①会長 1 名を互選により選出する。
- ②副会長を会長の指名により選出する。
- ③議長は出席した委員の互選により、その都度定める。

【 学校 】

氏名	役職	備考
山下 拓	浜松市立光が丘中学校 校長	
瀬戸 一志	浜松市立光が丘中学校 教頭	
石田 真	浜松市立光が丘中学校 教務主任	C S 担当職員
横山貴美恵	浜松市立光が丘中学校 校務アシスタント	C S ディレクター

学年構成並びに学校運営組織

学 年 構 成			1 年	2 年	3 年
	学年主任		内山 克行(社)	鈴木 公哉(体)	大庭 篤(数)
	学級 担任	A 組	島田 翔太(体)	小笠原和美(数)	北村 和輝(国)
		B 組	鈴木 勇太(英)	内山 大輔(社)	内山 涼恵(国)
		F 組	青島 麻里(体)		
学年付		櫻田 里奈(理)		藤原康幸(音・技)	

学 年 外 職 員 及 び 主 任 ・ 主 事 等	校長	山下 拓	教頭	瀬戸 一志	教務主任	石田 真
	養護教諭	川瀬 眞生	事務主任	杉山 裕美	ALT	トリクシー・クストージョ
	生徒指導主事	内山 涼恵	進路指導主事	藤原 康幸	研修主任	櫻田 里奈
	非常勤講師(理)	櫻井 謙治	非常勤講師(美)	白柳まどか	非常勤講師(家)	磯部 唯
	校務アシスタント	横山貴美恵	図書館補助員	田中 順子	スクールカウンセラー	杉浦麻里絵
	スクールソーシャルワーカー	田坂 成生	シルバー用務員	唐沢 重春・加藤 悦子・西村 英子・小出 住子		

< メモ >

令和 6 年度 卒業証書授与式の予定

令和 7 年 3 月 1 8 日(火) 9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0

令和 7 年度 入学式

令和 7 年 4 月 8 日(火) 1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 2 0

令和6年度 第3回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年12月10日（火） 午後1時30分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰、森下 智子、實森 浜代
坂井 久司、瀧澤 文
- 4 欠席委員 青山 敏郎
- 5 学 校 山下 拓（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）
横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から、輪番により松井委員にお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。本日は、松井委員が議長を務めることとなった。

9 熟議事項

- （1）休日の部活動地域移行について
- （2）学校評価の進め方について
- （3）来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できること

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）休日の部活動地域移行について

議長の指示により、校長より休日の部活動地域移行について、プロジェクターを用いて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

●休日クラブに先生が付き添う場合は、市からの認定はどうなるのか。（松井委員）

→まだ決まっていない。（校長）

●クラブ活動については、行政からの補助はあるのか。（松井委員）

→まだ決まっていないことが多く、不明である。（校長）

●競技ばかりに目を向けて本末転倒にならないよう、生徒育成に目を向けて進めていけるとよい。（松井委員）

●先生と地域コーチの指導が違うことにより、子供たちが混乱することにも気をつけたい。（坂井委員）

協議の結果、「休日の部活動地域移行について」は、承認不要とした。

(2) 学校評価の進め方について

議長の指示により、教務主任から学校評価の進め方について、資料(8, 9頁)を用いて説明があった。特に、委員から発議はなかった。

(3) 来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できること

議長の指示により、教頭から来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できることについて、資料(10頁)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

【Aグループ：会長、溝口委員、森下委員、瀧澤委員、教頭】

＜期待すること＞

- 学校規模が小さいことの強みとして、「一枚岩」(学校・保護者・地域)であることが考えられ、生徒が、より多くの大人と接することのできる環境であること。
- 進学(小学校から中学校、中学校から高校)するときに不安に思うことや、周囲になじめないといった問題もあるが、地域の良さを信じ、周囲と繋がり続けられるよう、たくましく(しなやかに)、自信をもって進んでほしい。
- 社会に出る時も、自分や地域の良さを信じ、自信をもって出て行ってほしい。

＜支援すること＞

- 教育相談を充実する。
- 調理実習だけでなく、支援について、外部の方にも手伝ってもらう体制を整える。

【Bグループ：松井委員、笹竹委員、坂井委員、實森委員、石田】

＜期待すること＞

- コミュニケーション能力、クリエイティビティ(人間の力)、自分の意志、政治への関心(日本への誇り)をもった人。
- グランドデザインで示された、「確かな学力」「豊かな感性」「たくましい心身」をもった人。
- 優しい子が多いといった良さがあるが、耐える力、自ら切り開く力が低いため、それらをつけられると良い。

＜支援すること＞

- 調理実習では、生徒のいい笑顔、協力する姿勢が見られた。コミュニケーションの第一歩である挨拶を推進するとともに、教師・生徒の信頼関係を構築し、普段の学校生活においても、いい笑顔が見られるような指導を考えたい。
- 生徒、保護者、地域、職員が、グランドデザインを共有し、取り組むことができるようサポートする。

協議の結果、「来年度学校に期待することと、学校運営協議会として協力できること」は、承認不要とした。

【その他報告事項等】

- 司会の教頭から、学校運営協議会委員の任期について、令和6年度は1期3年目となり、初年度から参加していただいた方は、任期を終えられるが、再任は1回まで（最大6年）できる旨の説明があった。
- 司会の教頭から、次回会議は、令和7年1月30日（木）午後1時30分から会議室で開催する旨の説明があった。

期待する。光明の子も

「一枚岩」学校規模小 高校進学時不安

- ・ 互いに協力し合える関係性。
- ・ 光明地区でなく、生徒がなじめる。
- ・ 同国とつながり続けられるように。
- ・ たくさんした。(いなかで)

自信。自分たちの良さ。

- ・ 支援できると。
- ・ 教育相談の充実。
- ・ 調理以外でも外部の方。
- ・ スズキの執行役員(ボート) 大澤康弘

ブランドデザイン

◎村に入ってくる生活の姿。

- ・ コミュニケーション力。
- ・ プログラム化して。(人間性)
- ・ 個性を
- ・ 教育(国や地方) たい

基本

学校 たい

調理実習

コミュニケーション

教育

信親 教師

※ 添削用紙

2学期 学校評価（経営の重点）の分析

		対象	1 学期					2 学期				
			◎	○	△	×		◎	○	△	×	
1	あいさつ①	光が丘中学校では、あいさつを大切にし自らあいさつしようとしている	22	78	0	0		71	27	2	0	↑
		2年生徒	66	34	0	0		56	40	4	0	↓
		3年生徒	57	40	3	0		55	40	5	0	↑
徳	あいさつ②	家族や地域の方に対して進んであいさつができる	62	37	1	0		64	32	4	0	↑
		2年生徒	64	28	7	1		70	25	5	0	↑
		3年生徒	59	41	0	0		72	26	2	0	↑
		保護者	37	51	12	0		38	56	6	0	↑
		職員	17	83	0	0		50	50	0	0	↑
		1年生徒	58	41	1	0		52	46	2	0	↑
		2年生徒	44	49	7	0		50	46	4	0	↑
知	主體的な学び①	3年生徒	52	45	3	0		53	43	4	0	↑
		保護者	20	55	23	2		18	59	20	3	↑
		職員	33	50	17	0		30	50	20	0	↑
		1年生徒	78	23	0	0		73	27	0	0	↓
		2年生徒	58	38	3	0		67	31	2	0	↑
		3年生徒	64	35	1	0		74	26	0	0	↑
		職員	8	92	0	0		20	70	10	0	↑
3	主體的な学び②	学習には自ら進んで取り組むことができる	27	60	12	1		25	48	25	2	↓
		1年生徒	20	53	20	7		31	54	12	3	↑
		2年生徒	69	30	1	0		43	36	17	4	↓
		3年生徒	69	29	2	0		80	16	7	7	↑
		1年生徒	62	35	3	0		67	31	2	0	↑
		2年生徒	69	29	2	0		71	28	1	0	↑
		3年生徒	34	58	8	0		33	59	6	2	↑
体	行事への取り組み	保護者	8	92	0	0		50	50	0	0	↑
		職員	8	92	0	0		50	50	0	0	↑

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立() 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

--

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

--

校訓
校区の目指す子ども像



試す人 信頼される人 夢ある人

学校教育目標

未来を拓く生徒の育成

～「試す人」～挑戦する生徒



学校経営目標

「一枚岩の生徒指導体制で、自立の基盤となる能力や態度を育成する」

確かな学力

令和7年度の重点

- ◎研修テーマ「主体性を育む授業づくり」
- ・生徒が自ら考え、判断し、他者と共同して課題に取り組む授業
- ・「主体性」に焦点を当てた授業改善
- ◎基礎基本の定着
- ◎ICTを活用した授業



豊かな感性

令和7年度の重点

- ◎あいさつ運動の充実
- ・あいさつで「心の輪」をつなぎ、心を通わせる
- ◎思いやりの心の育成（人権の尊重、多様な生き方・考え方への理解）
- ◎道徳授業の工夫・充実
- ◎自己肯定感を高める支援
- ◎体験活動の充実



たくましい心身

令和7年度の重点

- ◎学校行事の充実
- ・新たな工夫を加え活力と潤いあふれる行事に
- ◎自分らしさを大切にする生き方指導
- ◎教育相談の充実
- ◎健康意識の増進
- ◎地域行事への参加



《安全・安心な教育環境整備》

- ・安全・安心のため、校内の物的環境の整備を図る。
- ・体罰や不適切な言動、いじめや差別のない、人間尊重に基づく人的環境を整える。
- ・大雨等の災害時の対応周知など安全確保のための情報を確実に共有・発信する。

《地域に開かれた学校づくり》

- ・PTA 活動、校区内の小学校・園、社会教育施設、福祉施設との連携・協働を通して地域の人材や学習資源を生かした教育を推進する。
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）、青少年健全育成会と連携する。
- ・学校だより、学校ホームページでの情報発信に努める。

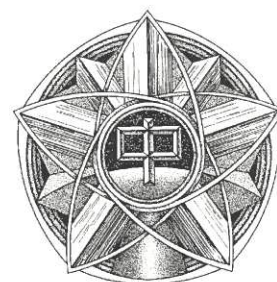
令和7年度 浜松市立光が丘中学校 学校経営方針

R7. 1. 30

【校 訓】 試す人・信頼される人・夢ある人

【中学校区のめざす生徒像】

- 《試す人》 課題解決に向けて挑戦できる生徒
- 《信頼される人》 温かな心や礼節を大切にできる生徒
- 《夢ある人》 自分らしさを大切に生活できる生徒



【学校教育目標】 未来を拓く生徒の育成 ～「試す人」挑戦する生徒～

生徒の実態として、誠実で礼儀正しい一面がある一方で、やや受け身な生徒が多いことから、自分の力を信じ、自らの意思で前向きに行動する生徒の育成を目指す

【浜松市のめざす教師像】

- 子どもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

【学校経営目標】

一枚岩の生徒指導体制で、自立の基盤となる能力や態度を育成する

【経営の方針】

- 自立の基盤となる能力や力を「知(確かな学力)・徳(豊かな感性)・体(たくましい心身)」として整理し、その中から令和7年度に重点的に取り組む事柄について、一枚岩の指導体制で臨む。
一枚岩の生徒指導体制・・・目標の共有・役割の明確化によりベクトルを合わせて全職員が協調・協働して生徒の指導に当たる。

【令和7年度の重点】

知	確かな学力	校内研修テーマ「主体性を育む授業づくり」のもと、課題対応能力の向上と魅力ある学習のための授業改善に取り組む。
徳	豊かな感性	スローガン「心の輪 共につなごう あいさつで」のもと、あいさつ運動を充実させ、生徒同士、職員、家庭、地域が、心通わせることを目指す。
体	たくましい心身	伝統の尊重しつつも新たな工夫を加えた学校行事の推進を通して、活気と潤いあふれる学校づくりを進める。

【学校経営の基盤】 地域に支えられているという自覚と安心・安全への意識

《安心・安全な教育環境の整備》

◎登下校時の安全(交通事故防止)と大雨等の災害時の安全確保

《地域に開かれた学校づくり》

◎学校ホームページでの情報発信をタイムリーに実施していく。

◎校区内の小学校・園、社会教育施設、福祉施設などと連携し、地域の人材や学習資源を生かした教育を推進する。